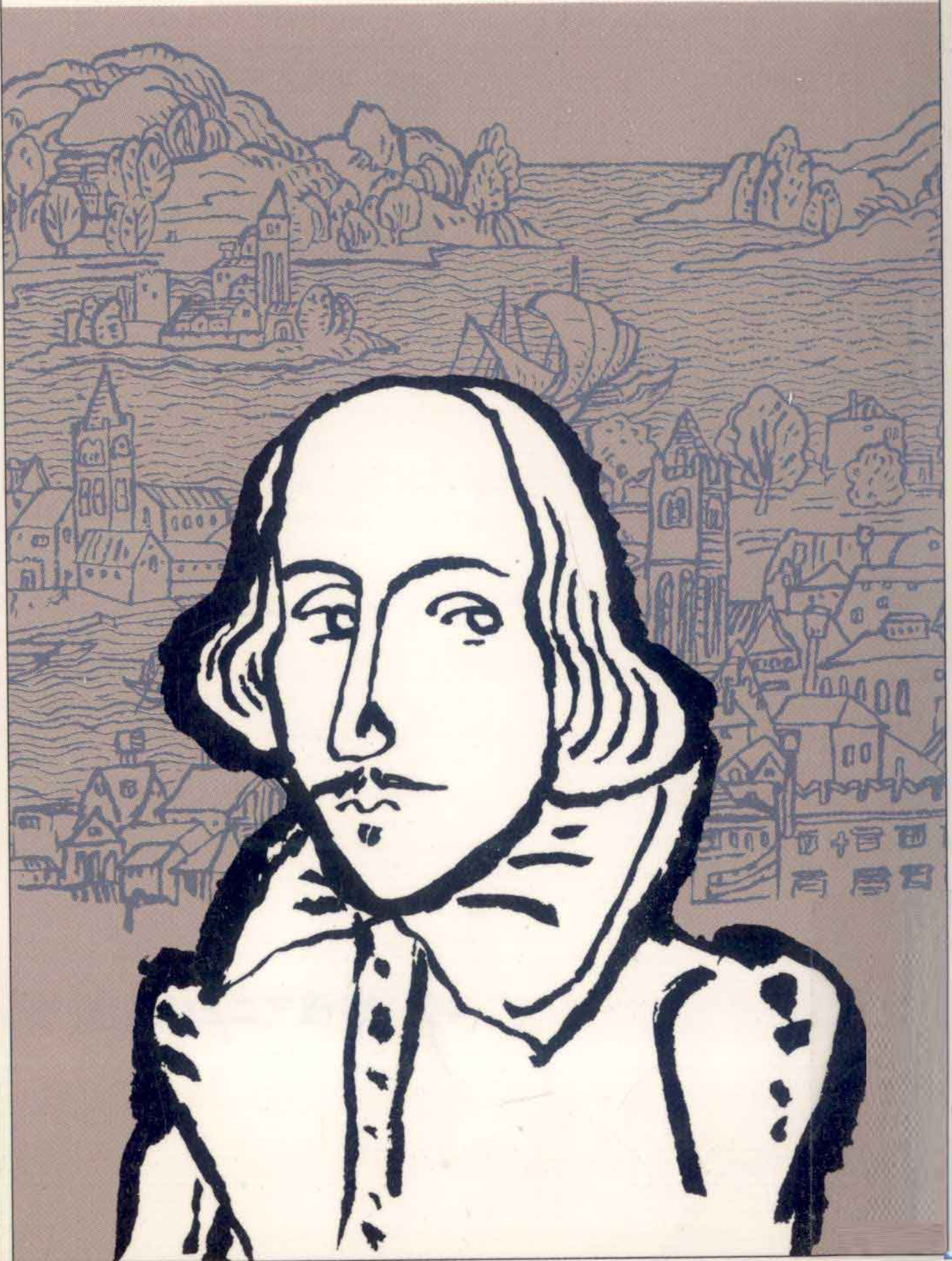


岩波ジュニア新書 104

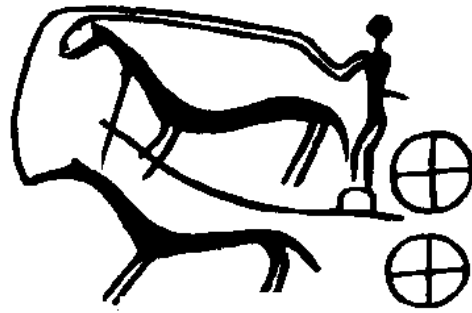
シェイクスピア名言集

小田島雄志著



シェイクスピア名言集

小田島雄志著



岩波ジュニア新書 104

シェイクスピア名言集

岩波ジュニア新書 104

1985年12月20日 第1刷発行 ©

定価 580 円

著 者 お だ し ま ゆ う し
小 田 島 雄 志

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5

発 行 所 岩 波 書 店

電話 03-265-4111

振替 東京 6-26240

印刷・理想社 製本・永井製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします Printed in Japan

まえがき

ウィリアム・シェイクスピア (William Shakespeare, 1564-1616) は、三十七篇の劇作品を書いた。そのおもしろさ、および人と作品については、名作九篇の要約とともに、岩波ジュニア新書の『シェイクスピア物語』に記してあるので、参照していただけるとありがたい。

彼の魅力の大きな部分を占めるものに、ことばがある。彼は、ぼくたちが日頃漠然と考えたり感じたりしていることを、切れ味鋭いことばで、スパツと言いつけてくれる。ぼくたちはそれを聞いて、そうだ、ぼくもそう考えていた、私もそう感じていた、と改めて人間の真実を開示された思いがする。

この本は、そのようなシェイクスピアの有名なことばを、ぼくの好みによって選び、さらに解説と雑感をつけ加えたものである。書きながら、紙数の都合で百本しか選べないことがもどかしかつた、彼の劇にはまだまだ数多くの名言が躍動しているのである。

ウェールズの農夫がロンドンに出て、はじめて『ハムレット』の舞台を見たとき、感想

を求められてこう答えたという。「さすがシェイクスピアは天才だな、ことわざ諺だけで芝居を書いたんだから」もちろん、『ハムレット』の各セリフが現在もなお諺のように日常生活の場で生きていることから作られたエピソードである。

シェイクスピアはおそらく、しんらばんしよう森羅万象にたいしてかぎりない好奇心を燃やす人だった、とくに人間にたいして。彼は、人間の喜びや悲しみ、愛や憎しみ、楽しみや悩みなど、心の動きをあますところなく追究した、それもあたたかい目をもって。だから彼のことばは、ぼくたちが生きていくうえでつねに慰めとなり、励ましとなる。ぼくがそうであったように、みなさんもシェイクスピアのことばを知ることによってよりゆたかな人生を送られるよう祈る。そしてこの本がきっかけとなり、シェイクスピアの作品に直接ふれてくだされば、著者としてなによりのしあわせである。

この本を美しく楽しく飾ってくれたジャケット・カヴァー・デザインの和田誠さん、本文カットのおかべりかさん、また面倒な仕事をこころよく引き受けてくれた岩波書店の島崎道子さんに、心から感謝したい。

一九八五年冬

著者

目次

まえがき

I 愛の歎び I

II 愛の歎き 23

III 男女の諸相 45

IV 美德の教え 65

V 悪徳のさとやき 87

| | | |
|------|----------|-----|
| VI | 悲しみのおののき | 109 |
| VII | ものの見方 | 129 |
| VIII | 魂の叫び | 153 |
| IX | 人間の真実 | 175 |
| X | 人間の彼方 | 199 |

シェイクスピア戯曲一覧

さくいん

カット＝おかべりか

I
愛
の
歓
び



1)
おお、ロミオ、ロミオ、どうしてあなたはロミオ？

O Romeo, Romeo! wherefore art thou Romeo?

『ロミオとジュリエット』第二幕第二場。

ヴェローナにはモンタギュー、キャピュレットという相争う二名門があった。モンタギューの息子ロミオは、キャピュレット家の仮面舞踏会で、その家の娘ジュリエットと一目で恋しあう。その直後、二人はおたがいに仇敵の間柄であることを知る。ロミオは去りがたくて庭園に身をひそめる。ジュリエットもロミオ恋しさに眠られず、バルコニーに出てきて、下にロミオがいると知らずに、このセリフから思いを口にしはじめる。

あと二週間あまりで十四の春を迎えるジュリエットにとって、恋しい人が敵の家の息子ロミオと知った切なさを表現するのに、「どうしてあなたはロミオ？」という以上のことばはなかつたろう。彼女はさらに続ける、

名前ってなに？ バラと呼んでいる花を

別の名前にしても美しい香りはそのまま。

だからロミオというお名前をやめたところで

あの非のうちどころのないお姿は、呼び名はなくても

そのままのはず。ロミオ、その名をおすてになつて……

ジュリエットは、恋を知ることによつて、名前と実体のあいだに距離があることを知つた。そして、実体の大切さを知ることによつて、親の手から自立した恋に生きることになる。恋の魔法はこのように人を成長させる力をもつ。

だが、このセリフを言うときジュリエット女優には危険がともなう。昔、ある舞台で、ジュリエットが「どうしてあなたはロミオなの？」と、あまり感情のこもらない日常会話の口調で言ったとき、観客席から失笑がもれた。さめた気持ちで聞くと、このセリフはこっけいにひびきかねないのである。



拙訳ではじめて上演されたのは文学座のアトリエだった。太地喜和子のジュリエットは両手を組みあわせた上に頬ほおをのせ、「おお、ロミオ、ロミオ、ロミオ、ロミオ……」と万感こめてのホイスパ（ささやき声）ではじめた。そのとたんにロミオを思う気持ちがせまいアトリエの空間いっぱいにはひろがり、ぼくは思わず目頭を熱くしたのである。

2)

……あれは私の若葉の時代、
分別は青くさく、情熱も湧き立たぬころの話だわ。

……My salad days,
When I was green in judgement, cold in blood.

『アントニーとクレオパトラ』第一幕第五場。

いまやローマの將軍アントニーを愛しているエジプトの女王クレオパトラは、侍女チャーミアンに、かつて愛したジュリアス・シーザーのことを言われて、このように述懐する。saladはサラダ菜(レタス、チシャなど)のことで、次行の green, cold の感觸を誘い出している。日本語の「サラダ菜」ではイメージが湧きにくいので、「若葉」と訳しておいた。

My salad days ということばは、若いういしい感じを伝えるので、よく引用される。研究社版のテキストにも、L. P. Hartley: *The Hiring* から “In his salad days, he had been known to get drunk and pick a quarrel.” (彼は若葉の時代には酒を飲み喧嘩を売ることでも有名だった) の例をあげてある。

史実によれば、クレオパトラがはじめてアントニーに会ったとき二十九歳、シーザーに会ったのは二十一歳のときだった。そしてその子シーザリオンを産んでいる。二十九歳からふり返ってみ

I 愛の歎び

ても、二十一歳ならば十分成熟していたと見えるはずだが、シェイクスピアのイメージにある彼女はもっと少女だったのだろう。ちなみに、バーナード・ショールが『シーザーとクレオパトラ』を書いたとき、シーザーを五十二歳、クレオパトラを十六歳と指定している。アントニーは、敗戦後クレオパトラがその手をオクテーヴィアス・シーザーの使者に口づけさせているのを見て、激怒して言う、

おまえは昔からふしだらな女だった、

……おれがはじめて会ったとき、

おまえは死んだシーザーの皿の冷たい食い残しだった、

いや、ニアス・ポンペーのこぼした食いかすだった。

彼女がローマの時の権力者に次々身も心もゆだねていったのは、「東洋と西洋の融合」という壮大な夢のためだった、と見る人もいる(ブノワ・メシヤン『クレオパトラ』)。とすれば、若葉時代の彼女は、分別は青くさくなくても、情熱と夢だけは湧き立っていたことになるのだが。



3)

「まことの恋をするものはみな一目で恋をする」

‘Who ever loved that loved not at first sight?’

『お気に召すまま』第三幕第五場。

アーデンの森に住む羊飼いの女フィービーは、羊飼いのシルヴィアスに愛されていたながら、冷たくあしらっている。追放された老公爵の娘ロザリンドは、父のあと同じく追放され、男装してこの森で暮らしているのだが、二人を見てシルヴィアスをあわれむと思い、フィービーをたしなめて去る。りりしいロザリンドの男姿に一目で惚れてしまったフィービーは、「死んだ羊飼いさん、やっとわかったわ、あんたのことばが」と言ったあと、この句を引用する。

「死んだ羊飼い」とは、一五九三年に死んだ劇詩人クリストファー・マーローのことであり、この句は彼の物語詩『ヒーローとリアンダー』（二五九八出版）にある。『お気に召すまま』の初演（一五九九―一六〇〇）当時の観客には、すでにおなじみの一行だったろう。シェイクスピアの名言集にマーローの詩句をあげるのはいささか気がひけるが、この句が後世の人に親しまれるようになったのはシェイクスピアがここで引用したからなので、ご容赦願いたい。

I 愛の歎

一目惚れ^ほしないて恋したものがかつてあったらどうか、とはたしかに真実を衝^ついている。ロミオとジュリエットはその典型的な一例である。だがその逆は必ずしも真ならずで、目で惚れて二目で嫌いになった、という例もある。女優のEは、あるパーティでスポーツマンのTにはじめて会ったときボーツとなったが、つぎに二人だけで会って昼食をともにしたとき、カツ丼^{どん}をがつつ食べるTの姿を見て、百年の、いや、三日の恋もいっぺんにさめたという。

一目惚れが大事なものは、別に男女のあいだのことだけではない。ぼくの大好きな劇作家の一人に、チェーホフがいる。学生時代、はじめて彼の『かもめ』を読んだとき一目惚れして以来、いまだに惚れ続けている。ロシア語が読めないので、英訳と日本語訳を並べて読んだりもしたぐらいである。

大学院のとき、某テレビ局で毎週ファッション・ショーとシャンソンをコントでつなぐというアルバイトをしたとき、ぼくは池永保夫というペンネームを使ったが、だれもこれをチェーホフとは読んてくれなかった。



4)

その目に見られて私の心は二つに裂かれてしまった、
半分はあなたのもの、残りの半分もあなたのもの。

**They (your eyes) have o'erlook'd me and
divided me ;**

One half of me is yours, the other half yours.

『ヴェニス商人』第三幕第二場。

ヴェニスのパッサーニオは、かつてベルモントのポーシャを訪ねたとき、その美しさと、「顔の美しさ以上に美しい美德」とに心をうたれたが、ポーシャのほうも彼への恋心を抱いた。やがて彼女の父が死んだ。死ぬとき、娘への求婚者には金・銀・鉛の箱のなかから一つ選ばせ、ポーシャの肖像が入っている箱を選び当てたものを夫にせよ、との遺言を残した。その箱選びにパッサーニオがやってきたとき、ポーシャはこのようなことばで愛をうちあける。

ポーシャはさらに続けて言う、

私のものと言いたいけれど、私のものはあなたのもの、
だからみんなあなたのもの……

このような形での愛の告白には、知的な香りがただよっている。ポーシャは知性ゆたかな女性である。だからこそのちに、法廷の場に男装してあらわれ、シャイロックにたいし名

判決をくだすことができるのである。

シェイクスピアには、もう一つ、裂かれた心についての有名なセリフがある。『ハムレット』王妃寢室の場である。

王妃 ああ、ハムレット、おまえはこの胸をまっふたつに裂いてしまった。

ハムレット それならその悪いほうをすて、いいほうだけ残して、

清らかな日々をおすごしなさい……

ぼくたち日本人にも、二つに裂かれた心のイメージはわかるし、そのような表現をすることもある。だが、半分はどうで残りの半分はどう、という発想はないように思う。

昔、一年後輩のTはある劇団の女優に惚ほれた。彼女の出る舞台は二度、三度と見に行った。その女優が同じ劇団の俳優と結婚した、と伝えられた日、たまたまTと出会ったので、喫茶店に誘った。「残念だったね」と言うと、Tは黙ってコースターに小さな絵を描きはじめた。できあがってみると、トランプのハートの形をまんなかからギザギザの線で二つに割った図だった。



5)

恋の軽い翼でこの塀は飛びこえました。

With love's light wings did I overpassed these
walls.

『ロミオとジュリエット』第二幕第二場。

モンタギューの息子ロミオは、仇敵きゆうてきの間柄であるキャピュレット家の仮面舞踏会に入りこみ、その家の娘ジュリエットとおたがいに一目見て恋しあう。ロミオはいったん帰りかけたが、「心がここに残るのにどうして足が進もう」と思い、塀へいを乗り越えて庭園に身をひそめる。ジュリエットもロミオ恋しさに眠られず、バルコニーに出てくる。有名なバルコニー・シーンののはじまりである。そこでジュリエットが、庭の塀は高いのにどうやって乗り越えたのかと尋ねると、ロミオはこのように答える。

恋の神キューピッドは、盲目で翼をもつ男児神(boy god)である。「恋は盲目」であり、「恋の思いは天翔あまがける」からである。ロミオはその恋の神の翼を借りて塀を飛びこえたと言うのである。

いまもヴェローナには「ジュリエットのバルコニー」があり、観光名所になっている。シェイクスピアはその庭園を「果樹園オーチャード」にしているが、ここは一〇メートル×二五メートルほどの中庭でしかな